

農作物病害虫発生現況情報（9月）りんどう編

1 葉枯病

(1) 9月中旬の巡回調査では、発生圃場率は25.0%（平年29.3%）、採花部での発生圃場率は8.3%（平年11.5%）で、ともに平年よりやや低かった（図1）。

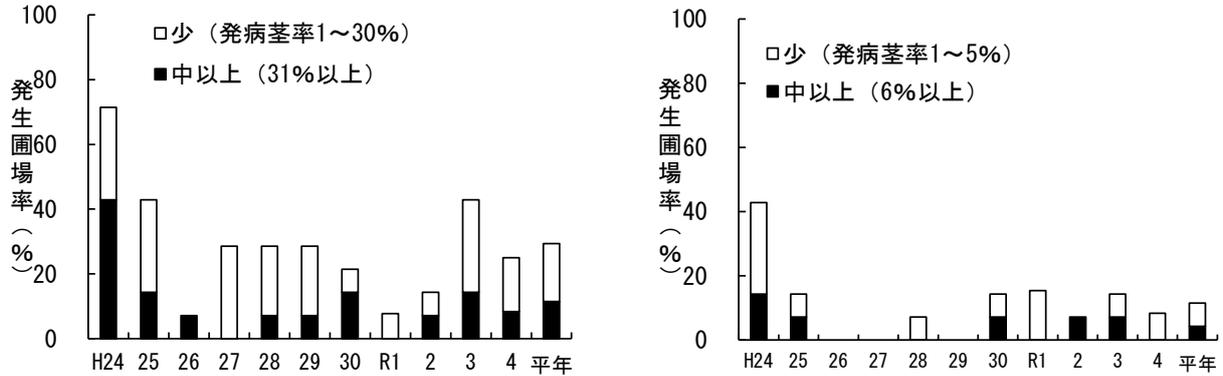


図1 葉枯病の発生圃場率の年次推移（左：発病茎率、右：採花部での発病茎率、9月中旬）

2 褐斑病

(1) 9月中旬の巡回調査では、発生圃場率は25.0%（平年6.4%）で、平年より高かった（図2）。

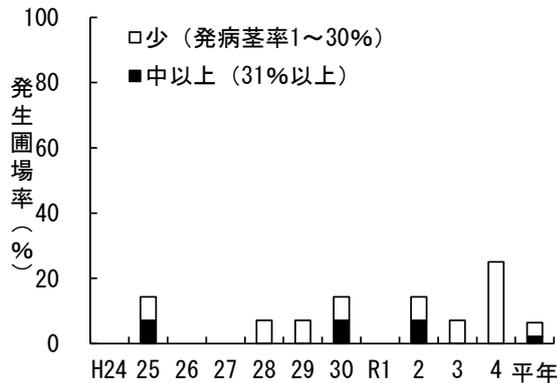


図2 褐斑病の発生圃場率の年次推移（9月中旬）

3 花腐菌核病

(1) 9月中旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（平年5.1%、図3）。

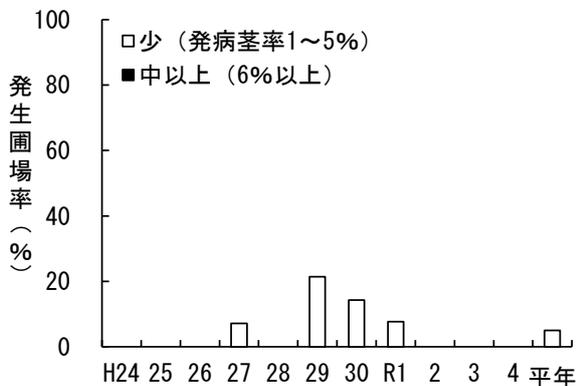


図3 花腐菌核病の発生圃場率の年次推移（9月中旬）

4 ハダニ類

(1) 9月中旬の巡回調査では、発生圃場率は33.3%（平年28.7%）で平年よりやや高く、寄生葉率は一部で程度の高い圃場がみられた（図4）。

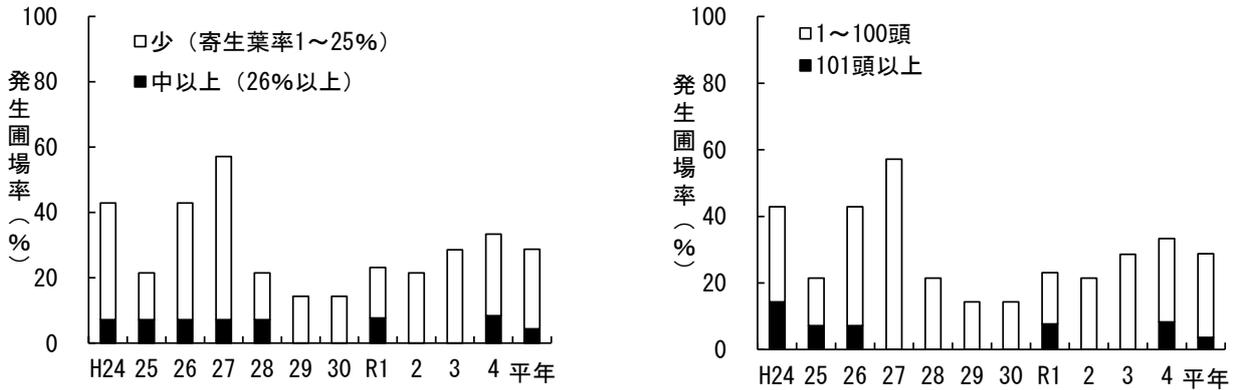


図4 ハダニ類の発生圃場率の年次推移（左：寄生葉率、右：寄生虫数/80葉、9月中旬）

5 リンドウホソハマキ

(1) 9月中旬の巡回調査では、潜葉痕の発生圃場率は16.7%（平年43.6%）で、平年より低かった。生長部および茎部の被害は確認されなかった（平年20.1%、図5）。

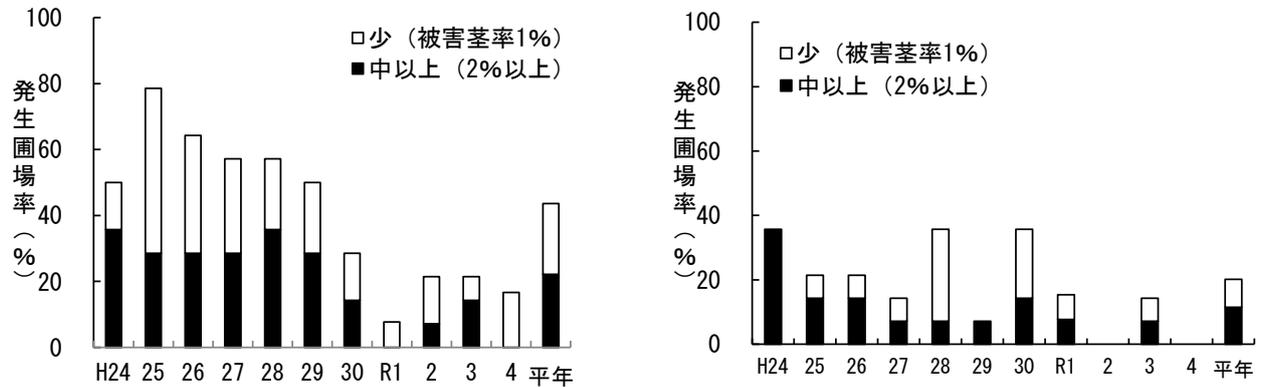


図5 リンドウホソハマキの発生圃場率の年次推移（左：潜葉痕、右：生長部・茎部、9月中旬）

6 アザミウマ類

(1) 9月中旬の巡回調査では、発生圃場率は35.7%（平年49.5%）で、平年よりやや低かった（図6）。

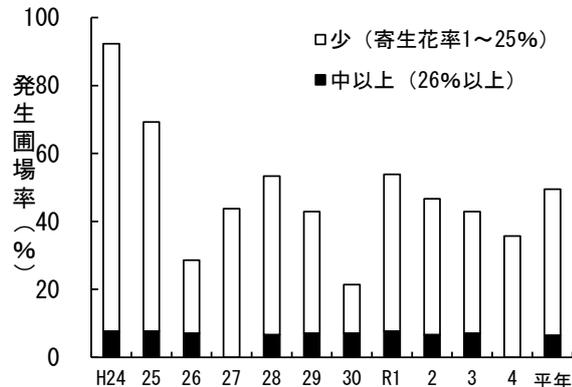


図6 アザミウマ類の発生圃場率の年次推移（9月中旬）

7 アブラムシ類

(1) 9月中旬の巡回調査では、発生は確認されなかった。